

共に伸び、共に輝け、感謝・感動  
しなやか えだわん

12月 えだわんだより



横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi1/>

「実りの秋」から「蓄えの冬・開花の春」へ

学校長 熊谷 潤平



大盛況だったどんちゃか祭り  
(写真は「スリッパ飛ばし」)

秋が終わり、これから本格的に冬に入ります。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋…「実りの秋」とはよく言ったもので、本校でも、10月にはスポーツフェスタ、11月にはえだわんコンサート・どんちゃか祭り・校外学習など、特徴ある大きな教育活動が目白押しでした。どんちゃか祭りにおいては、準備段階も、当日も、たくさんの保護者の皆様の熱い心意気が学校中に広がりました。「感謝・感動」を子どもたちの心に呼び起こすお祭りは、学校教育目標そのものでした。本当にありがとうございました。

さて、たくさんあった大きな活動の振り返りの中から、今回は、4年生の「えだわんコンサート」の振り返りを紹介したいと思います。

より低い音を出すとピーと高い音が鳴らないように、しっかりリコーダーの穴が開いてないかをたしかめたり、フーフーぶきでなく、トゥートゥーぶきができるように工夫したりしました。これからもいろんな曲を習うと思うけど、歌詞を積極的に覚えたいです。リコーダーで低い音を出すときに、ピーとあまり鳴らなくなりました。

ソプラノに流されないようにがんばりました。ソプラノに負けなぐらいの歌声で歌いました。(2年)歌を歌うのがかわいくて、けんぱんハーモニカも上手でした。(5年)「ルパン三世」のいろいろな楽器がかっこよかったです。

大きすぎず、小さすぎず、いい声で歌いたいです。

一回一回息をすって、リコーダーの穴がちゃんとふさがっているか、かくにんして演奏しました。前は、ソプラノとアルトがつかれ合ってたけど、うまくできてよかったです。特にいんしょうにのこったのは、「ルパン三世のテーマ」です。すごく大きな音で、リズムもばっちりでした。成長したと思うのは、リコーダーで音がぶれなくなったことです。

4年生は、11月17日に行われた区の音楽会にも希望者が参加しています。具体的で、実感がこもっていて、臨場感のある振り返り。国語力の伸びも感じます。こうした振り返りを読んでうれしくなるのは、素朴な表現の中に、向上意欲や健気な学習態度が見て取れることです。異学年の友達の頑張りをしっかり見て取る感受性もすばらしい。

11月は、心が吸い込まれるような、澄んだ青空をたくさん見せてもらえました。えだわんコンサートで5年生は、「ハローシャイニングブルー」という歌を通して、空の青・海の青のすばらしさを表現しました。この曲は、「♪ハローシャイニングブルー／空が呼んでいる／みんな仲間さ」という歌詞で結ばれています。子どもたちの、秋の豊かな学びは、まさにこの仲間たちとの学び合いによって実現されたものでしょう。共に伸び、共に輝け、えだわんの子。異学年交流や大集団での対面学習活動は、ときに批判にさらされることがありますが、やはり、大きな価値を忘れるわけにはいきません。

実りの秋を経て、やがて来る春に花を咲かせるための力を蓄えるのが、この冬。えだわんの皆さん。例年以上に長い冬休みをも成長意欲を蓄えるよき期間としつつ、寒さ厳しい冬を越えていってください。個性豊かな仲間たちと共に。